



日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920(大正9年)10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,201、会員数83,833人(2025年2月末現在)となっています。

ロータリーの目的

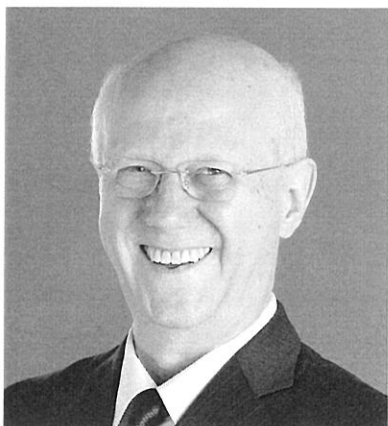
ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



RIテーマ

「よいことのために手を取りあおう」

2025～2026年度
国際ロータリー会長

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ

敬愛なるガバナーとロータリーリーダーである皆さま、おはようございます。

昨年はここに、2024-25年度ガバナーにお集まりいただきました。その際、私は国際ロータリーの会長ノミニーとして、会員増強を私たちの組織の最優先事項であり、最も価値ある資産であり、最大の課題であると強調しました。

そして今日、会長エレクトとして皆さんの前に立っている今、ロータリーの未来を確かなものにするには、組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠であると、これまで以上に確信しています。

ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です。会員は、地球上で最も有能なボランティアのチームです。私は、アトランタ国際大会で、ポリオ根絶のパートナー団体を代表する人物が、ロータリー会員の並外れた献身を称賛したのを聞いて、このことを学びました。外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました。

本日は、会員増強と活性化に向けたロードマップについてお話ししたいと思います。このロードマップは、革新、継続性、パートナーシップという、不可欠な三つの柱に基づいています。これらの原則は単なる戦略ではありません。ロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するための行動の呼びかけです。

世界は、劇的なペースで変化しています。テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。トマー・ディ・ランベドゥーサが『山猫』で書いたように、「すべてを同じままに保つには、すべてを変えなければならない」のです。

革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。若い会員を迎え入れるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく必要があります。

68歳の私は、仲間たちのコミュニティを見つけることがどれほど充実したものであるかを、身をもって知っています。

私の所属クラブであるサント・アンドレ・ロータリークラブは、150人の会員を擁する活気と伝統のあるクラブです。妻のデニースは、衛星クラブの結成に助力し、50人近い素晴ら

しい女性たちが自分らしくリーダーシップを発揮できる場を創り出しました。

衛星クラブ、分野特化型クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなどは、多様な人びとを惹きつけるために必要な柔軟性の例です。これらのモデルがどこでも通用するわけではありませんが、従来の枠組みにとらわれずに未来のロータリアンに働きかける機会をもたらします。将来のロータリー会員は必ずどこかにいます。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります。

この18カ月間で地球を6周以上した旅の中で、最も健全な地区には、一貫し、団結したリーダーシップという重要な特徴があることに気づきました。ガバナーが前任者の努力を基盤とし、プログラムや戦略が毎年途切れることなく継続されるようにすることで、地区は発展します。一方、トップにおける不和は、時限爆弾のようなものであり、これが会員数の減少という結果を引き起こすことがよくあります。

この旅から得た感動的な瞬間をいくつかご紹介しましょう。ナイジェリアの第9141地区では、サービスの行き届いていない地域に井戸を建設したり、学校に椅子を寄贈したりすることの素晴らしいインパクトを目の当たりにしました。パキスタンでは、2022年の壊滅的な洪水の被災者が、ただ生き延びるだけの生活からより良い未来へと移行できるよう、ロータリーが支援しているスマートビレッジを訪れました。

インドのムンバイでは、ロータリーの補助金で先天性心臓病の治療を受けている子どもたちに会いました。また、別の地域では、緩和ケア病院の外に、がん検診、歯科治療、眼科検診を支援するロータリー財団のロゴが入った救急車が並んでいるのを目にしました。

インドネシアのランブンで、デニスと私は、700世帯の経済が小規模ながら変化し、米を生産する農家の収入が増えるのを目にする機会に恵まれました。

継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士が連携し、自分の“ガバナー年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます。ロータリーはすでに、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しています。これ以上、私たちの努力を分散させて、状況をさらに難しくしてはなりません。むしろ、未来のリーダーがさらに発展させていけるような協力の遺産を築いていきましょう。

ロータリーがポリオ根絶活動で培ってきた歴史は、私たちに貴重な教訓を与えてくれます。単独でも大きな成果を上げることができますが、力を合わせれば、世界を変えることができます。ゲイツ財団、WHO、UNICEFといった団体とのパートナーシップは、230億ドルを投じて40年以上取り組んできたポリオ根絶活動において極めて重要な役割を果たしました。ロータリーが単独でこれほどまでに大きな進展を遂げることはできなかったでしょう。

それならば、会員増強にもこの教訓を活かすべきではないでしょうか。ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら、質の高い会員を引き付けることができます。このようなパートナーシップは、「量か質か」という誤った二者択一を排除します。奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます。

最終的には、私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています。会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継承していくことです。

まず、誰も永遠には生きられないと認識しなければなりません。クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れることです。

第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がります。会員が増えるということは、奉仕に参加する人が増え、地域社会にさらに多くのリソースを投入できることを意味します。

第三に、後継者育成計画が重要です。クラブは成長するか、衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤というものはありません。

私たちは、会員の勧誘と維持を、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。

ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。

行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。

これが、2025-26年度の会長メッセージです：「よいことのために手を取りあおう」

分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーは、より良い人間となり、人びとに奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。

本日この会場を後にする際には、地区でロータリーを成長させるための最善の戦略を学ぶことに焦点を当ててください。ロータリーは、この協議会に多大な時間と資金を投じてきましたが、それはスピーチや派手な演出のためではなく、皆さんが効果的にリーダーシップを発揮するための手段を身につけていただくためです。この投資から得られる見返りは、金銭で測られるものではなく、新会員の入会数、革新的なクラブの創設、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことによって測られるでしょう。

そして、この使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。

成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。

ご清聴ありがとうございました



RI マリオ 次年度会長のメッセージ

国際ロータリー第2620地区

2025～2026年度 ガバナー 稲 葉 雅 之

2月9日から13日まで米国フロリダ州オーランドで開かれた国際協議会へ参加してまいりました。皆様とともにマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長エレクトのメッセージ“UNITE FOR GOOD”（よいことのために手を取りあおう）のもと、次年度の地区運営に向けて邁進してまいります。2月10日に発表されたメッセージの解説は次の通りです。会長エレクトの皆さんにおかれましては、メッセージをクラブ運営に生かしていただきたいと思います。ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

はじめに

2025-26年度のロータリーインターナショナル次年度会長であるマリオ氏は、2025年2月10日、フロリダ州オーランドで開催されたロータリークラブの国際協議会において、次年度に各地区でガバナーを務める予定のガバナーエレクトに向けたスピーチを行いました。

本スピーチでは、ロータリーの最も重要な資産であり、最大の課題でもある「会員増強」に焦点を当て、組織の未来を支えるためのビジョンを示しました。

彼のメッセージの中心となるのは、「革新」「継続性」「パートナーシップ」という三つの柱を基盤にした会員増強の道筋です。

1. 会員増強の重要性

マリオ次年度会長は、ロータリーの持続可能性において最も重要なのは会員であると強調しました。

彼自身がロータリーに参加した当初、外部のパートナー団体からロータリーの献身的な活動を称賛された経験を通じて、ロータリーが持つ最大の強みは「人材」とであると確信したと言います。

また、彼はロータリーが変化し続ける社会に適応し、さまざまな年齢層やバックグラウンドを持つ人々を積極的に迎え入れる必要があると述べました。例えば、若者を歓迎することはもちろん、高齢者層が新たな目的やつながりを求めてロータリーに参加することも重要であると指摘しました。

彼の地元クラブであるサントス・デ・ブラジルの成功事例として、150名以上の会員を有

する強固な組織基盤を紹介し、さらに妻のデニス氏が主導したサテライトクラブの設立によって、50名以上の女性会員が新たにロータリーの活動に参加することができたことを挙げました。

これらは、多様な会員を迎え入れる柔軟性がロータリーに必要であることを示しています。

2. 継続性の重要性

次に、会員増強とロータリーの成長を支えるためには、単年度ごとのリーダーシップではなく、継続的なビジョンが不可欠であると指摘しました。

各地区のガバナーが一貫した方向性を持ち、前任者の施策を尊重しながら推進することで、持続的な発展が可能になります。

彼は、過去18カ月間で世界中を6周するほどの旅をし、さまざまなロータリークラブの取り組みを目の当たりにしました。その中で特に印象的だった事例として、以下のプロジェクトを紹介しました。

- ・ ナイジェリアのロータリー地区：井戸の建設や学校用の机の寄贈を通じた教育環境の向上
- ・ パキスタンのロータリークラブ：自然災害の影響を受けた地域における医療支援
- ・ インドのロータリー活動：小児心疾患の治療プログラム
- ・ インドネシアのロータリークラブ：700以上の家族の経済的自立を支援する農業プログラム

これらの取り組みが実現できたのは、ロータリーの長期的なビジョンと継続的なリーダーシップがあったからこそであると述べ、単年度ごとに方向性が変わるのではなく、将来を見据えた計画のもとでリーダーが協力し合うことの重要性を説きました。

3. パートナーシップの力

ロータリーが単独で成し遂げられることには限界があるため、外部の組織と連携することにより大きな影響を与えられるとマリオ次年度会長は述べました。

例えば、ロータリーが「ポリオ根絶」に向けて40年間で230億ドルもの資金を投じ、成功を収めたのは、ビル&メリンダ・ゲイツ財団やユニセフとの協力があったからです。この経験を活かし、ビジネス団体、専門職団体、学術機関などとのパートナーシップを強化することで、ロータリーの会員基盤を拡大し、多様な人材を引き込むことができると強調しました。

また、「会員増強」において、「量か質か」という二者択一の議論にとらわれるのではなく、奉仕とエンゲージメントの価値を共有する専門家たちとつながることが重要であると述べました。適切なパートナーと連携することで、ロータリーはより多くの優れた人材を確保し、さらなる成長を遂げることができると訴えました。

4. 次世代へつなぐロータリー

最後に、マリオ次年度会長は、ロータリーの未来を見据え、会員基盤を継続的に強化する

ことが不可欠であると述べました。

- ・ 会員数の維持は幻想であり、成長し続けなければ衰退する
- ・ 次世代へと受け継ぐリーダーシップが必要
- ・ ロータリーのメッセージを常に新しい会員に伝えていくことが大切

彼はメッセージとして、「よいことのために手を取り合おう」と強調しました。

ロータリーのプロジェクトは、国籍、人種、宗教、ジェンダー、経済的背景に関係なく、人々を一つの目的のもとに結びつけます。この精神を守りながら、未来の世代にも引き継いでいくことがロータリアンの使命であると述べました。

まとめ

マリオ次年度会長のスピーチは、「会員増強」「継続性」「パートナーシップ」という三つの柱を中心に、ロータリーの未来に向けた道筋を示すものでした。彼のメッセージは、ガバナーエレクト一人ひとりがリーダーシップを発揮し、ロータリーを次の時代へと導くための行動指針となるものです。

最後に彼は、ガバナーエレクトたちに向けて、「ロータリーの活動は、友情を育み、楽しむことも大切である」と述べました。そして、「ロータリーはよいことのために団結する組織であり、この精神を、誇りを持って受け継いでほしい」と呼びかけました。

マリオ次年度会長のスピーチは、ロータリーの持つ可能性と未来への希望に満ちた力強いメッセージでした。ガバナーエレクトたちは、このビジョンを共有し、自らの地区で実現していくことが求められます。

LET'S UNITE FOR GOOD!

ロータリー行動計画

私たちは 世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い **変化を生むために**
人びとが **手を取り合って**
行動する 世界を目指しています

より意義あるつながりを育み、奉仕を通じてより持続可能な変化をもたらすためにロータリーを導くのが、私たちの戦略計画である「ロータリー行動計画」です。

この行動計画の四つの優先事項を指針とすることで、より健全なクラブをつくり、すべての人が積極的に参加できる体験を提供し、行動を通じて持続的な変化を生むために人びとを結びつけるという国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実行することとなります。

より大きな
インパクト
をもたらす

参加者の
基盤を
広げる

参加者の
積極的な
かかわりを
促す

適応力を
高める

- ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める
- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- 参加者がロータリーを体験する新しい方法を創り出す
- クラブの柔軟性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する理解を築く
- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 個々の参加者をよりよく理解し、サポートする
- 個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成とスキル開発のための学びの機会を提供する
- 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な考え方を育む

2025-26年度 会員負担金

1. RI人頭分担金(RC)【US\$82／人・年 ※半期\$41】
／ (RAC ※当地区は地域社会基盤のみ)【US\$8／人・年】
2. 規定審議会年次賦課金【US\$1／人・年】
3. 地区資金負担金【¥22,000／人・年 ※35歳未満は半額】

2025-26年度 地区目標

1. 会員増強 ●

- ◇会員3,000名を目指そう!
- ◇クラブの会員増強・維持
- ◇新クラブ、新しいタイプのクラブの設立

より大きな
インパクト
をもたらす

参加者の
基盤を
広げる

参加者の
積極的な
かかわりを
促す

適応力を
高める

2. 公共イメージの向上 ●●●

- ◇ブランドリソースセンターの活用 ◇MyROTARY登録率80%の達成 ◇ビジュアルアイデンティティの応用
- ◇奉仕事業・活動をSNSや地元メディアでPRしロータリーの認知度を高める
- ◇米山梅吉記念館の活用と継続的支援

3. クラブ計画書の充実 ●●●

- ◇ロータリーの行動計画、戦略的優先事項をクラブ計画に落とし込もう

4. 各委員会事業への理解と参加、委員会の活用 ●●●

- ◇各委員会事業へ積極的に参加しよう

5. END POLIO ●●

- ◇ポリオプラス・ソサエティへ登録し、継続的支援をしよう
- ◇世界ポリオデー(10月24日)に合わせたエンドポリオ事業の実施

6. ロータリー財団への寄付と補助金の積極的活用 ●●●●

- ◇US\$150／人・年【ゼロクラブ-ゼロ】 ◇ベネファクター【各クラブ1名以上】 ◇ポリオプラスUS\$30／人・年
- ◇ロータリーカード加入推進 ◇地区補助金、グローバル補助金の積極的な活用
- ◇ポール・ハリス・ソサエティへの登録

7. ロータリー米山記念奨学会支援 ●●

- ◇奨学生支援【世話クラブ・カウンセラー引き受け】 ◇寄付推進【¥16,000／人・年以上(普通・特別寄付合算)】

8. クラブ優秀賞への挑戦 ●●●●

- ◇ロータリークラブ・セントラルへの目標入力から始めよう
- ◇マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長の要請に応えよう

9. 地区大会(12月6、7日)への参加 ●●●●

10. 国際大会(台湾・台北) 2026年6月13～17日への参加 ●●



2025-26年度 ガバナー賞

全ての皆様のお力添えに感謝を申し上げるとともに、下記を達成の皆さんを地区大会で表彰させていただきます。ロータリー活動の励みにしていただければ幸いに存じます。

☆は2025-26年度地区大会で表彰いたします。

★は対象期間を2025-26年度1年間の実績として、2026-27年度地区大会で表彰いたします。

マイロータリー登録率100%クラブ(2025年9月末現在) ☆

ロータリーカード保有率上位3クラブ(2025年6月末現在) ☆

ロータリーカード年間利用額上位3クラブ ★

在籍50年の正会員(2025-26年度に在籍50年を迎えられる会員) ☆

90歳の正会員(2025-26年度に90歳を迎えられる会員) ☆

30年以上100%出席の正会員(2025年9月末現在) ☆

女性会員比率向上上位3クラブ ★

会員純増上位3クラブ ★

会員維持率100%(退会者ゼロクラブ) ★

3名以上の新会員紹介者(紹介クラブは問いません) ★

ガバナー奨励賞 ※エンドボリオキャンペーン活動を含むクラブの奉仕活動から選定 ☆

2025-26年度 ガバナー公式訪問予定表

2025年(稲葉DG年度)

月	日(曜日)	RC	会長 幹事会	例会	場 所
7	17(木)	甲府西	11:00	12:30	シャトレゼホテル談霧館
	18(金)	沼 津	11:00	12:30	沼津リバーサイドホテル
		せせらぎ三島	17:00	18:30	呉竹
	22(火)	パワー浜松	8:30	7:30	オークラアクトシティホテル浜松
		浜名湖	11:00	12:30	浜名湖レークサイドプラザ
		浜北俊倍	17:30	19:00	旧辻亭
	23(水)	藤 枝	11:00	12:30	小杉苑
		三 島	17:00	18:30	呉竹
	24(木)	浜松志耀	8:30	7:30	オークラアクトシティホテル浜松
		浜松南	11:00	12:30	グランドホテル浜松
	25(金)	浜松西	11:00	12:30	ホテルコンコルド浜松
		浜松中	17:30	19:00	グランドホテル浜松
	28(月)	甲 府	11:00	12:30	古名屋ホテル
	29(火)	河口湖	11:00	12:30	富士レークホテル
	30(水)	富士吉田	11:00	12:30	ホテル鐘山荘
		甲府北	17:00	18:30	湯村常盤ホテル
	31(木)	都 留	11:00	12:30	割烹 ふるや
8	1(金)	富士吉田西	11:00	12:30	ハイランドリゾートホテル&スパ
	4(月)	静 岡	11:00	12:30	グランディエールブケーカイ
		静岡RAC	18:00	19:30	安藤ハザマビル5F
	5(火)	榛 南	11:00	12:30	静波スウィングビーチ
		焼津南	16:30	18:00	舟小屋
	6(水)	清水西	11:00	12:30	清水ナショナルトレーニングセンター
		静岡西	17:00	18:30	ホテルグランヒルズ静岡
	7(木)	清水中央	11:00	12:30	割烹 大花
	8(金)	静岡日本平	11:00	12:30	ホテルアソシア静岡
	18(月)	甲 斐	11:00	12:30	コッソクラブ
	19(火)	甲府南	11:00	12:30	シャトレゼホテル談霧館
		甲府南RAC	17:00	18:30	山梨大学
	20(水)	山 梨	11:00	12:30	割烹旅館 秋月
		北 杜	17:00	18:30	日野春駅前「画家の宿 志満屋」
	21(木)	富士山吉原	11:00	12:30	ホワイトパレス
		駿 河	17:00	18:30	よし川
	22(金)	甲府東	11:00	12:30	ネオス・ミラベル
		韭 崎	17:00	18:30	KINGSWELL
	25(月)	甲府中央	11:00	12:30	甲府市協働支援センター
	26(火)	清 水	11:00	12:30	ホテルクレスト清水
		伊豆中央	17:30	19:00	ホテルサンパレー富士見
	27(水)	浜松北	11:00	12:30	グランドホテル浜松
		浜松ハーモニー	18:00	19:30	グランドホテル浜松
	28(木)	焼 津	11:00	12:30	焼津四川飯店
		掛 川	17:00	18:30	パレスホテル掛川
	29(金)	藤枝南	11:00	12:30	小杉苑
		富士宮西	17:00	18:30	富嶽温泉 花の湯

月	日(曜日)	RC	会長 幹事会	例会	場 所
9	2(火)	大 月	11:00	12:30	濱野屋 2F
	3(水)	長 泉	11:00	12:30	米山梅吉記念館ホール
	4(木)	沼津西	11:00	12:30	アクアガーデン迎賓館沼津
	5(金)	裾 野	11:00	12:30	米山梅吉記念館ホール
	8(月)	山中湖	11:00	12:30	ホテルマウント富士
	9(火)	沼津北	11:00	12:30	沼津リバーサイドホテル
	10(水)	甲斐シティ	11:00	12:30	KINGSWELL
		峡 南	17:30	19:00	いち柳ホテル
	11(木)	甲斐の郷	11:00	12:30	KINGSWELL
		三島西	17:00	18:30	呉竹
	12(金)	浜松東	11:00	12:30	オークラアクトシティホテル浜松
	16(火)	新富士	11:00	12:30	ホテルグランド富士
	17(水)	富 士	11:00	12:30	ホテルグランド富士
	18(木)	島 田	11:00	12:30	大井神社 宮美殿
		島田RAC	18:00	19:30	島田自家用自動車協会
	24(水)	笛 吹	11:00	12:30	ネオス・ミラベル
	25(木)	熱海南	11:00	12:30	熱海後楽園ホテル
		富士宮	17:00	18:30	フォレストヒルズ
	29(月)	清水北	11:00	12:30	割烹 大花
		静岡中央	16:30	18:00	中島屋グランドホテル
	30(火)	静岡北	11:00	12:30	ホテルアソシア静岡
		静岡北RAC	17:30	19:00	ホテルアソシア静岡
10	1(水)	南アルプス	11:00	12:30	魚覚
	2(木)	甲府シティ	17:00	18:30	シャトレゼホテル談霧館
	6(月)	静岡東	11:00	12:30	ホテルアソシア静岡
	7(火)	浜 松	11:00	12:30	グランドホテル浜松
		浜松RAC	17:30	19:00	グランドホテル浜松
	8(水)	沼津柿田川	11:00	12:30	清水町福祉センター
	14(火)	伊 東	11:00	12:30	ダンコーエンボウル サンテラス
	16(木)	御殿場	11:00	12:30	YMCA東山荘
	21(火)	袋 井	11:00	12:30	レスベランス
	22(水)	磐 田	11:00	12:30	GREENITY IWATA
	28(火)	下 田	11:00	12:30	下田プリンスホテル
	31(金)	伊東西	11:00	12:30	ダンコーエンボウル

2025-26年度 周年事業RC

	クラブ名	承認年月	開催年月日	開催場所
90周年	浜松RC	1936年2月28日	2026年2月7日(土)	グランドホテル浜松
70周年	伊東RC	1956年3月5日	2026年3月29日(日)	川奈ホテル
65周年	熱海南RC	1961年8月3日	未定	未定
65周年	沼津北RC	1960年8月17日	2025年11月15日(土)	沼津リバーサイドホテル
65周年	焼津RC	1960年9月6日	2026年5月30日(土)	ホテルアンピア松風閣
65周年	下田RC	1961年2月9日	2026年5月10日(日)	下田プリンスホテル
60周年	伊豆中央RC	1966年1月18日	2025年11月29日(土)	ホテルサンバレー富士見
55周年	浜松北RC	1970年11月27日	2025年11月8日(土)	グランドホテル浜松
50周年	清水西RC	1976年1月20日	2026年4月15日(水)	日本平ホテル
50周年	焼津南RC	1976年2月26日	2026年2月7日(土)	ホテルアンピア松風閣
50周年	静岡西RC	1975年12月3日	2025年11月22日(土)	ホテルグランヒルズ静岡
50周年	掛川RC	1976年1月20日	2026年4月11日(土)	掛川グランドホテル
50周年	河口湖RC	1975年12月29日	2025年11月9日(日)	ハイランドリゾートホテル&スパ
45周年	沼津柿田川RC	1980年11月10日	2025年9月27日(土)	未定
45周年	裾野RC	1981年5月20日	2026年5月15日(金)	米山梅吉記念館ホール
40周年	富士吉田西RC	1986年6月11日	2026年5月24日(日)	ハイランドリゾートホテル&スパ
35周年	沼津西RC	1991年6月25日	2026年5月31日(日)	アクアガーデン迎賓館沼津
35周年	藤枝南RC	1991年6月24日	2026年5月15日(金)	小杉苑
10周年	甲斐の郷RC	2016年6月27日	未定	未定

2025-26年度 周年事業RAC

	クラブ名	承認年月	開催年月日	開催場所
50周年	浜松RAC		2026年4月	

2025-26年度 IM開催日

グループ	ガバナー補佐	所属クラブ	ホストクラブ	開催日	開催場所
山梨第1グループ	勝俣 重信	富士吉田RC	富士吉田RC	2026年4月4日(土)	ホテル鐘山苑
山梨第2グループ	鈴木 信行	甲府北RC	甲府北RC	2026年4月12日(日)	山梨県立図書館
山梨第3グループ	福田 清貴	甲府南RC	甲府南RC	2026年5月23日(土)	山梨県立図書館
静岡第1グループ	堀内 満喜子	三島RC	三島RC	2026年2月15日(日)	みしまプラザホテル
静岡第2グループ	芹澤 豊	裾野RC	裾野RC	2026年2月14日(土)	御殿場高原ホテル
静岡第3グループ	大川 美代子	清水西RC	清水西RC	2026年2月7日(土)	ホテルアソシア静岡
静岡第4グループ	杉本 昭	焼津RC	焼津RC	2025年10月4日(土)	焼津文化会館
静岡第5グループ	川井 啓介	浜松中RC	浜松中RC	2026年3月7日(土)	アクトシティ中ホール

ロータリーの 行動計画について話そう

「世界を変える行動人」から成るロータリー。その未来に向けた大胆な計画が立てられました！

この用語解説は、ロータリーの全会員が声をひとつにして同じ言葉で目標について語り、一体となって前進し行動するための参照資料です。

ビジョン

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

行動計画

ロータリーの5カ年戦略計画の名称。4つの戦略的優先事項と14の目的を含む。

参加者

ロータリーの全会員およびロータリーの活動に携わる人びと

戦略的優先事項

より大きなインパクトをもたらす

奉仕プロジェクトのデータを定義し、測定し、確認し、記録することで、活動のインパクトを測り、プロジェクトの質を高め、持続可能な変化を生むこと。

参加者の基盤を広げる

多様な参加者を惹きつけ、これらの参加者がひとつになって行動するための新しい参加モデルを開発すること。

参加者の積極的なかかわりを促す

参加者にインスピレーションを与える新しい方法を創出し、参加しつづけたいという気持ちを起こすような価値ある体験を提供すること。

適応力を高める

ロータリーの運営・ガバナンス構造を効率化し、その柔軟性と効果を高め、より良くロータリーを表すものとする。

目的

行動計画によって達成したい具体的な事柄

イニシアチブ

各目的を達成するための実行可能な手段。

戦略計画委員会による監督の下、事務局がイニシアチブ完遂の責任を担う。

投入リソース

プログラムに投入するリソース（例：識字プログラムで使用する資料）

結果

プログラムの即時的な結果（例：識字プログラムを修了した人の数）

成果

プログラムの短期的・中期的な結果（例：識字プログラムを通じて読む能力が身についた人の数）

インパクト

プログラムの長期的な効果または最終的な結果（例：地域社会での教育成果における変化）

全員参加で前進しよう：my.rotary.org/ja/strategicplan



ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

**親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ**

過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。



rotary.org/actionplan

ロータリーの多様性、公平さ、インクルージョンの取り組み



ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ（包摂的）な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

行動規範

ロータリーの中核的価値観：親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ

この行動規範は、ロータリーの中核的価値観を反映しており、世界のほぼすべての国からの、100以上の異なる言語のロータリアンやローターアクトの責務を説明しています。ロータリーはこの規範を守り、組織の成長とともにこの規範を発展させていくことに真摯に取り組んでいます。

中核的価値観と同じく、ロータリアンとローターアクトが、互いに、そしてロータリープログラム参加者、学友、プロジェクトのパートナー、地域社会の人びとと接する際に、この行動規範を身をもって示すことが求められます。本行動規範は、すべてのクラブ、地区、ゾーン、国際ロータリーの会議、研修、行事、そのほか会員がロータリーを代表する場、My ROTARY、ソーシャルメディアに適用されます。

期待事項

クラブ会員、そのほかロータリープログラムなどの参加者、学友、プロジェクトパートナー、ロータリー代表者は、この行動規範を守ること、思いやりを持つこと、すべての人が尊重され重んじられる協力的でインクルーシブ、前向きで健全な環境づくりに貢献することを期待されます。

他者を尊重する言葉を使う

- 初対面の人には自己紹介をし、希望する人称代名詞 (he/him/his, she/her/hers, they/them/theirs) など、自分を指す際にどのような言葉が使われることを望むかを説明する。人の呼び方は、言いやすいニックネームではなく、本人が希望する名前で呼ぶ。
- 大勢のグループの前で話す際には、ジェンダーの前提を避けるために、中性的な言葉を使う。
- 相手への理解を深めるために、アクティブリスニング（積極的傾聴）を実践する。
- 言葉の使い方を意識し、地域にあわせて順応させる。ある言葉遣いが、文化によって容認される場合もあれば、容認されない場合もある。
- 文化によって翻訳不可能な俗語・隠語や慣用句の使用を避けたり、その意味を丁寧に説明したりすることで、ロータリーの多様な文化と言語を共有する。
- わかりやすく話し、すべての人が理解できない可能性のある略語や専門用語は避ける。
- 相手の文化的背景、信仰、性的指向、ジェンダー、その他の特性に関心がある場合には、こうした情報を共有することに抵抗がないかどうかを尋ねる。そのトピックが会話の内容と関連がない場合、尋ねるのを控える。
- 世代間の対話を促す雰囲気は助長し、人を年齢で言い表すのを避ける。

サポートを示す

- 他者の味方・擁護者となり、必要だと思われる場合には介入する心構えをもつ。
- 不適切な行為を見たり聞いたりした場合、その影響を受けた人をサポートする形でその行為に対処する。
- ロータリー会員としてこの行動規範を守り、これに沿った文化をクラブで築き、問題が起きた場合はこれに対処する。

温かく迎え開放的な環境を助長する

- バリアフリー対策ができていない会場、同時通訳、字幕、おおよび／または筆記、そのほかのリソースを必要に応じて提供することによって、直接対面式またはオンラインで実施するいかなる会合、行事、活動にも、すべての会員と参加者が全面的に参加できるようにする。
- クラブやプログラムの慣習を見直し、特定のグループに不快感を与えたり特定のグループを疎外したりするおそれのある活動を停止または変更する。

- 温かく迎える環境をつくり、対話、プロジェクト、行事にすべての人を含める。
- 可能な限り、アイコンタクト、表情、口調、個人空間、ジェスチャー、（体の）姿勢といった非言語的なコミュニケーションに注意を払い、それがいかに人と接する能力や共感する能力に影響するかを意識する。
- さまざまな宗教における重要な日を認識し、それらの慣習に従っている人びとが参加できるように配慮した形で行事や活動の予定を組む。
- さまざまな宗教における重要な日を認識し、それらの慣習に従っている人びとが参加できるように配慮した形で行事や活動の予定を組む。
- クラブと地区でリーダー的役割を担う機会をすべての人に開く。または、地域社会のパートナー団体と関わりあう。

多様性を重んじる

- 障害者に対するクラブでの認識、理解、受容を高める。
- 一つの文化や宗教と関連する奉仕プロジェクトや行事ばかりを実施するのではなく、多様な文化や宗教の行事を祝う。
- 多様性と関連する重要な日を認識し、尊重する。
- 特定の人びとを固定概念にあてはめたり、からかったりすることを避ける。
- 異なるジェンダーを認識し、尊重する。

行動規範にかかわる懸念を報告する

この行動規範に反する行為があったと感じた場合、Eメールでご連絡ください（DEI.Inquiries@rotary.org）。

成人ハラスメントの問題を報告する

ロータリー章典に従い、ロータリーは現在、会合、行事、活動においてロータリアンまたはローターアクターがかかわるハラスメントの問題を報告するための以下の規定を定めています。

ロータリーは、いかなる形のハラスメントもない環境を維持することに力を注いでいる。ハラスメントとは大まかに定義すると、個人またはグループを、あらゆる特性¹（年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、または性自認）に基づいて、言葉であれ身体的であれ、中傷、侮辱、または攻撃する言動を指す。

成人がかかわるハラスメントのいかなる申し立てについても通知を受けた場合、またはハラスメントを受けたと感じた場合、以下のステップに従ってください。

1. 身の安全が脅かされていると感じる場合は、警察に相談する。
2. クラブ役員（クラブ会長または幹事）、地区リーダー（地区ガバナーまたは地区ガバナーエレクト）、あるいはゾーンのリーダー（RI理事）に通知する。
3. 問題について国際ロータリーのクラブ・地区支援室（cds@rotary.org）に報告する。
4. 青少年がかかわるハラスメントまたは虐待の申し立てはすべて、72時間以内に国際ロータリーに報告（youthprotection@rotary.org）しなければならない。

¹ここに挙げられた特性は、ロータリー章典「会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境」からの引用です。ロータリー章典が改訂された場合、この行動規範も改訂されます。